



若田飛行士が帰還したスペースシャトルから撮影した船外実験プラットフォーム施設 (JAXA様提供)

国際宇宙ステーション 日本実験棟「きぼう」が完成 明星の観測装置が「宇宙天文台」として順調なスタート！

国際宇宙ステーション (ISS) の日本実験棟「きぼう」に搭載された、宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA)、全天X線監視装置 (MAXI) が、8月から本格的に運用が開始されました。若田光一飛行士により取り付けられた、船外実験プラットフォーム施設内に2つの観測装置が設置されています。両観測装置は、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 様や各研究機関などとともに、10年以上の開発期間を経て、無事本格運用に至りました。宇宙環境計測ミッション装置 (SEDA) は、人体や人工衛星に影響を与える各種の宇宙環境を計測するために、中性子センサなどの観測機器で構成されています。また、全天X線監視装置 (MAXI) は、地球ではとらえることのできないX線を複数の特殊カメラで観測する装置です。地球では観測できなかった天文現象を出現直後にリアルタイムで地球上の観測センターに伝送できるシステムを備えており、8月15日には、ファーストライト (最初の) 画像を撮影することに成功し、順調に「宇宙天文台」としてスタートを切りました。

(当社営業担当: 第一営業部 小林 忍)



自動観測装置 (AWS)

スリランカ気象災害情報ネットワーク (ODA) 工事完了！

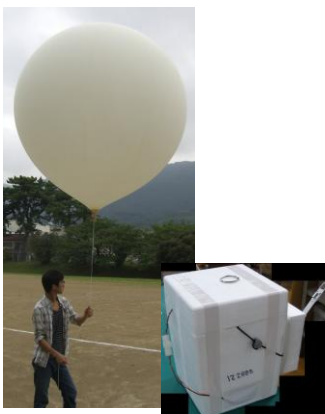
明星電気は、政府開発援助 (ODA) 案件で、スリランカの気象災害情報ネットワークを、7月に工事完了しスリランカ政府に引渡しを行いました。

このシステムは、2004年12月に起きたスマトラ島沖地震でインド洋に面する地域が甚大な被害を受けたことで、スリランカ政府は災害管理に対する備えを強化するために行いました。

本システムは、20カ所のメイン観測所と18カ所のサブ観測所に自動観測システム用装置、観測データを気象局本部に自動的に送信する衛星通信システム用装置、本部で観測データの収集、編集および分析を行う中央制御システム装置で構成されています。今回の整備で、リアルタイムに気象情報の収集が可能となり、急激な気象の変化にも気象警報がより迅速に発令できるようになります。

明星電気は、世界各地で異常気象による災害が続く中、海外での受注活動にも力を注いでまいります。

(当社営業担当: 第二営業部 長谷田 光俊)



オゾンゾンデ用の大型バルーンとゾンデ本体 (写真右)

神奈川県自然環境保全センター様の 丹沢地域上空大気環境観測始まる！

神奈川県自然環境保全センター様は、上空の大気観測を実施するために明星電気製のGPSレーウィンゾンデ及びオゾンゾンデをご採用いただきました。

本調査は、県西部丹沢地域の自然環境保全、とくにブナ林衰退の原因を周辺気候から解明するために愛媛大学若松伸司教授と共同実施している「丹沢及びその周辺地域における大気環境に関する調査・研究」の一環として、丹沢地区のオゾン動態を解明するために行う現地調査です。

8月に足柄上郡開成町周辺でラジオゾンデを用いた上層大気観測とともにオゾンの地上濃度測定が行われました。

明星電気のラジオゾンデは、高層気象観測のほか、身近な自然環境保全のために活躍しています。

(当社営業担当: 第二営業部 小野 義明)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～水中から宇宙まで～をテーマに

人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。